

第4学年2組 社会科（プログラミング）学習指導案

1 単元名 わたしたちの県

2 ソフトウェア活用の視点

本授業では、小学校4年社会科「私たちの県」の単元で都道府県の名称や位置について地図帳などの資料を利用して調べ、都道府県の特色についての理解を深めるために「Scratch」を活用するものである。児童は、これまでにProgramming at School研究会が作成したプログラムを活用し、「Scratch」の基本操作やアルゴリズムについて学んでいる。そこで、児童が調べた都道府県の特色について「Scratch」で表現する活動を取り入れることにする。都道府県について興味を喚起させる手段として、「Scratch」で特産品や県庁所在地などを表示するプログラムを組んだり、友達が組んだプログラムについて意見を交換し合ったりすることで、理解を深めていきたいと考える。

3 全体指導計画（本時は3時）

時	学 習 内 容
1	都道府県について特色を調べる。
2	都道府県の特色について意見を交換し、その県だけに当てはまる条件を絞る。
3	都道府県の特色を「Scratch」で作成する。
4◎	特色についてまとめたプログラムを改善するために話し合う。
5	都道府県の特色について発表しあい、理解を深め合う。

4 本時の目標

特色についてまとめたプログラムについて話し合い、都道府県の特色を理解することができる。

5 学習活動（ソフトウェア型）

	学 習 活 動	指導の方法・留意点（◎評価）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 都道府県の特色をまとめよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに作成した「都道府県の特色」の内容について確認する。 ・間違いのあるサンプルプログラムを示し、正しいプログラムに直すための、意識付けを図る。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に組んだプログラムを再考する。 ・都道府県の特色が正しいかグループ内で確認する。 ・グループ内でプログラムが正しく動くか確認し、手直しする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に作ったプログラムを確認する。 ・プログラムが完成している児童は、進度の遅れている児童のプログラミングを支援させる。 ・地図帳や資料を利用しても良いことを伝え、特色を確かめられるようにする。 ・一つの県の特色に条件が絞り込めるようにする。 ・完成したプログラムをもとに、プログラムが正常に動くか確認する。 ・グループ内で各自が組んだプログラムを実行し、ワークシートやホワイトボードを用いて、意見交換しながら、プログラムが正しく動くか確認し、修正するようにする。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表し合う。 ・グループの中で推薦したい作品を全体に紹介する。 ・次時の活動内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表し合い、ヒントやプログラムの改善点について意見交換する。 ・どういう点がよいと思ったのか、アドバイスなどを参考に根拠を明確にして、発表させる。 <p>◎都道府県の特色を理解することができる。 (ワークシート)</p>